

平成17年7月16日
原子力安全対策課
(17-31)
<19時30分記者発表>

大飯発電所2号機の調整運転停止について (発電機固定子冷却水のわずかな漏えい)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力117.5万kW）は、平成17年6月24日より第19回定期検査での調整運転中のところ、本日12時20分頃、発電室員がタービン建屋巡回点検を実施していたところ、建屋2階面の上方（発電機下部）から水の滴下を発見した。直ちに、現場付近を確認したところ、発電機固定子冷却水系統*の計装用取出し配管フランジ溶接部から冷却水が霧状に漏えい（1.3%程度/時間）しているのを確認した。

今後、当該箇所の点検および補修を実施するため、本日24時頃から出力降下を開始し、明日7時頃に発電を停止する予定である。

現在、発電機固定子冷却水系統のパラメータ（圧力：約4気圧、温度：約46℃）に異常はなく、プラントの運転パラメータにも影響はなく、安定している。また、漏えい量も大きな変化はない。

なお、今回の事象では放射能による環境への影響はない。

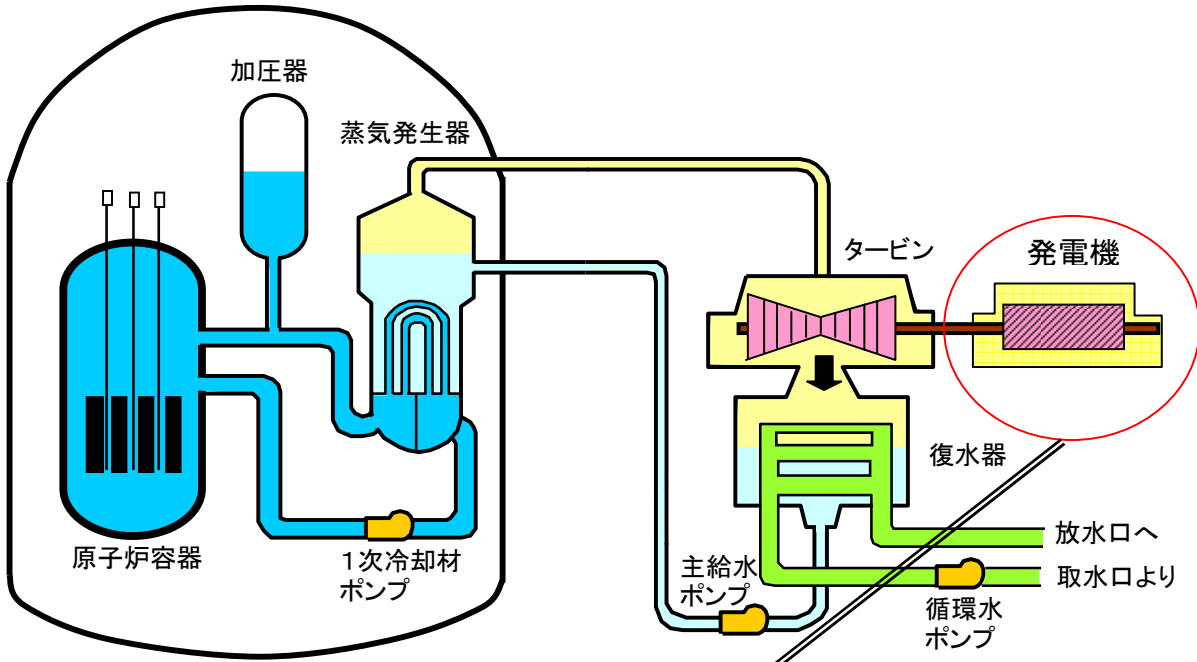
* 発電機固定子冷却水系統

発電機運転中、固定子が高温とならないように固定子内部に冷却水を送り込んでいる系統。

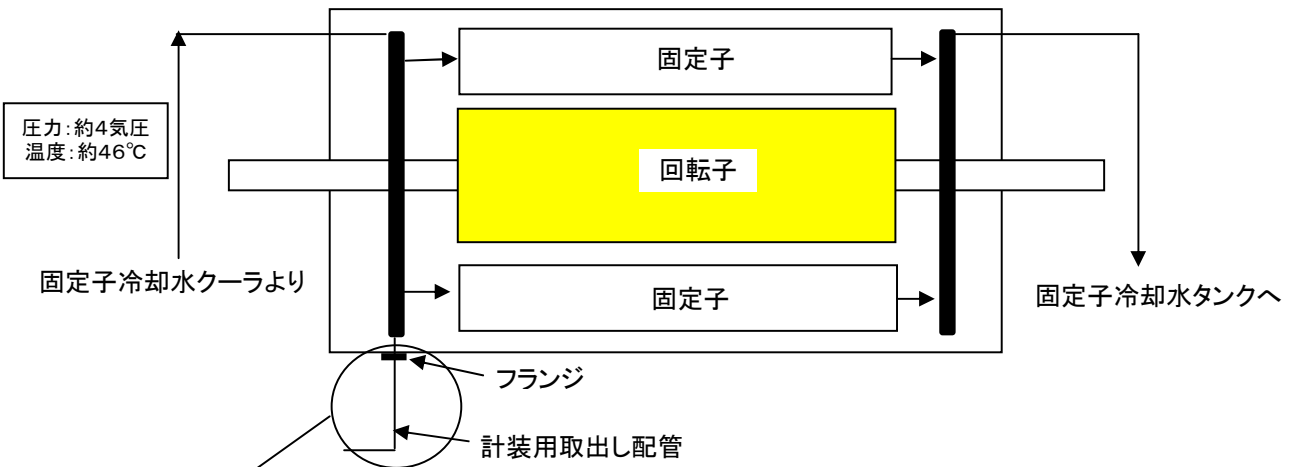
問い合わせ先(担当：小西)
内線2353・直通0776(20)0314

大飯発電所2号機 発電機固定子冷却水のわずかな漏えいについて

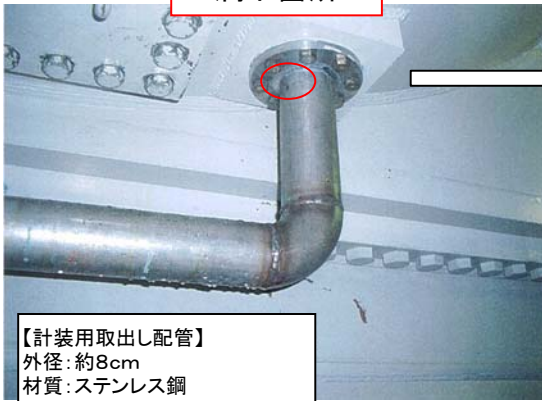
原子炉器格納容器



発電機(固定子冷却水系統概要)

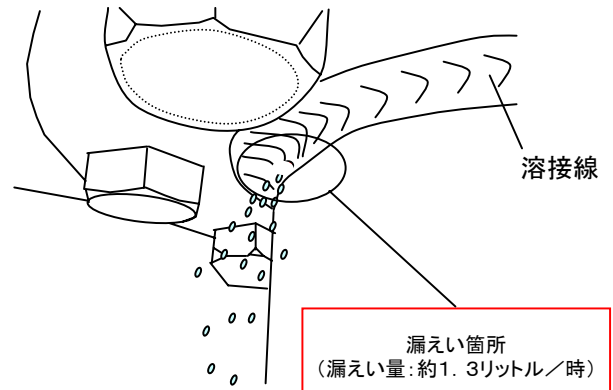


滴下箇所



【計装用取出し配管】
外径: 約8cm
材質: ステンレス鋼

滴下箇所のイメージ図



漏えい箇所
(漏えい量: 約1.3リットル/時)